

平成 25 年度国立大学図書館協会海外派遣事業参加報告書

九州大学附属図書館

天野絵里子

1. 訪問期間

平成 25 年 8 月 15 日(木)～24 日(土)

2. 訪問先

IFLA World Information Library Conference 2013, Singapore

Nanyang Technological University (NTU)

Singapore Management University

3. 活動および調査の目的

- ・ "CREATING THE FUTURE ECOSYSTEM OF ACADEMIC RESOURCES IN KYUSHU UNIVERSITY"と題し九州大学の e リソース管理についてポスター発表
- ・ 学習支援環境（ラーニング・コモンズ等）、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）の活用、Linked Data による書誌情報の公開等について先進的な取組の調査
- ・ IFLA WLIC にて New Professional Special Interest Group (NPSIG)等の分科会への参加し、専門職の継続教育や実践コミュニティづくりについて調査

4. 成果

2 日間に渡るポスター発表では、各国の参加者に九州大学の e リソース管理を報告することができ、また、有意義な情報交換ができた。

近年図書館で広まりつつある Linked Data による書誌情報の公開について知るために、サテライトミーティングに参加した。主にヨーロッパ諸国では、公共情報のオープン化の流れの元、国立図書館からの書誌情報の公開が進み、さらに検索サービスでの活用が始まっている。今後は、インターフェースの改善など、図書館員の貢献が期待される。

NTU は、SNS による図書館サービスで定評がある。そこでのワークショップでは、教員への SNS 活用支援など、図書館員による一歩踏み込んだサービスが紹介されていた。SNS の可能性や図書館員の役割をさらに発展させる取組みであろう。

NPSIG のワークショップでは、国境を超えたライブラリアンが互いに学び合い、キャリアを歩んでいこうとするコミュニティの活動に飛び込み、このようなつながりと自主的な活動の重要性を確認した。